

令和6年度第1回加東市まちづくり推進市民会議次第

と き 令和6年10月11日（金）午後2時～
ところ 社公民館 2階 研修室

1 開会

2 座長及び副座長の選出

【資料1】加東市まちづくり推進市民会議設置要綱

3 報告・協議事項

(1) 令和6年度加東市まちづくり推進市民会議における協議スケジュール・内容等について

【資料2】令和6年度加東市まちづくり推進市民会議について

【資料3】〔評価シート例〕令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート

(2) 第2次加東市総合計画後期基本計画の進行管理（施策評価）について

【資料4】令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート〔政策Ⅰ・Ⅱ〕

4 その他

(1) 今後の会議開催日程について

ア 第2回 令和6年10月25日（金）午後2時～ 社公民館2階 研修室

イ 第3回 令和6年11月29日（金）午前10時～ 南山活性化支援施設『ミナクル』

(2) その他

5 閉会

○加東市まちづくり推進市民会議設置要綱

平成25年3月27日

告示第22号

改正 平成27年3月31日告示第50号

平成30年3月30日告示第46号

(設置)

第1条 加東市総合計画（以下「総合計画」という。）に基づいたまちづくりを、市民との協働により推進するとともに、簡素で効率的かつ透明性の高い行財政運営を構築するため、加東市まちづくり推進市民会議（以下「市民会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 市民会議は、次に掲げる事項について調査審議するほか、総合計画に基づいたまちづくりについての意見を、市長に対して提案することができる。

- (1) 総合計画の進行管理に関すること。
- (2) 行財政改革の推進に関すること。
- (3) その他総合計画の推進に関して必要な事項

(組織)

第3条 市民会議は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 各種団体の推薦する者
- (2) 識見を有する者
- (3) 一般公募による者
- (4) その他市長が必要と認める者

3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

4 委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(座長)

第4条 市民会議に座長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 座長は、会務を総理し、市民会議を代表する。

3 座長に事故があるとき又は座長が欠けたときは、座長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 市民会議の会議（以下「会議」という。）は、座長が必要に応じて招集する。ただし、座長（その職務を代理する委員を含む。）が定まっていないときは、市長が招集する。

- 2 会議の議長は、座長がこれに当たる。
- 3 会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
- 4 座長は、必要と認める場合は、会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(部会)

第6条 市民会議は、必要に応じ、部会を置くことができる。

- 2 部会の運営に関し必要な事項は、座長が市民会議に諮って定める。

(庶務)

第7条 市民会議の庶務は、まちづくり政策部企画政策課において処理する。

(平27告示50・平30告示46・一部改正)

(その他)

第8条 この告示に定めるもののほか、市民会議に関し必要な事項は、座長が市民会議に諮って定める。

附 則

この告示は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年3月31日告示第50号)

この告示は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 (平成30年3月30日告示第46号)

この告示は、平成30年4月1日から施行する。

令和6年度まちづくり推進市民会議について

1 所掌事務

- (1) 総合計画の進行管理に関すること。
- (2) 行財政改革の推進に関すること。
- (3) その他総合計画の推進に関して必要な事項

2 推進体制

行政内部と外部評価組織（加東市まちづくり推進市民会議）において総合計画の進捗状況を総合的に管理し、総合計画に基づいたまちづくりを、協働により推進します。

総合計画	区分	R5	R6	R7	R8	R9	R10～
		第2次総合計画（後期基本計画）					第3次総合計画
策定	行政審議会等				策定作業 総合計画審議会等 市民アンケート●		
推進	市民会議（外部）		総合計画の進行管理（施策評価等）				総合計画の進行管理（施策評価等）
	行政（内部）		総合計画の進行管理（施策評価等）				総合計画の進行管理（施策評価等）
			●市民アンケート（中間）				

3 協議スケジュールについて

令和6年度		令和7年度	令和8年度
開催時期	内容	内容	内容
10月11日（金） 午後2時～ 社公民館2階 研修室	総合計画（後期基本計画）の進行管理 【対象】 ・政策Ⅰ（こども未来部） ・政策Ⅱ（教育振興部）	総合計画（後期基本計画）の進行管理 【対象】 ・政策Ⅴ（産業振興部） ・政策Ⅵ（都市整備部） ・政策Ⅶ（上下水道部） ・政策Ⅷ（まちづくり政策部・秘書広報課） ・政策Ⅸ（総務財政部） ・政策Ⅹ（委員会事務局）	総合計画（後期基本計画）の進行管理（総括） 【対象】 ・政策Ⅰ～Ⅹ 総合戦略（総合計画（重点戦略））の進行管理（総括）
10月25日（金） 午後2時～ 社公民館2階 研修室	総合計画（後期基本計画）の進行管理 【対象】 ・政策Ⅳ（健康福祉部・病院事業部）		
11月29日（金） 午前10時～ 南山活性化支援施設『ミナクル』	総合計画（後期基本計画）の進行管理 【対象】 ・政策Ⅲ（市民協働部・まちづくり政策部） 総合戦略（総合計画（重点戦略））の進行管理	総合戦略（総合計画（重点戦略））の進行管理	

4 総合計画の進行管理（評価）の方法について

総合計画の進行管理（評価）については、事後評価（令和5年度の実績に基づく評価）としています。

主要施策（令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート）ごとに、あらかじめ市において一次評価を行っていますので、その結果を基に、まちづくり推進市民会議において二次評価を行っていただきます。

※令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート（主要施策ごとに作成）の構成

・裏面 ①主要施策を構成する主な事務事業

↓

・表面 ②成果・課題・取組方針、③年度目標達成状況（まちづくり指標）⇒④総合評価
《評価基準》

S：全ての指標を達成又は十分な成果があった

A：全ての指標の達成率が80%以上又は概ね目標とする成果があった

B：過半数の指標の達成率が60%以上又は一部成果があった

C：取組（時期・内容）に改善が必要

※①の内容・結果等を踏まえて②成果、課題・取組方針を設定し、①②の結果としての③年度目標達成状況等を確認し、③（場合により①②を踏まえて）の結果から④総合評価を行うシート構成としています。

※丸数字は、資料3（評価シート例）の番号と対応しています。

政 策	Ⅷ	戦略的経営と協働で創造する魅力あふれるまち	計画書
施 策	2	まちの活力の創造	92
主要施策	44	シティプロモーションの推進	ページ

部	まちづくり政策部	課	企画政策課	所管部長	三木 秀仁	作成担当	役職	副課長	氏名	村上 計太
				所管課長	岸本純子		役職	係長	氏名	藤原 恵
							役職	主事	氏名	佐野 真唯

将来あるべき姿

若い世代を中心に多くの人々から「選ばれるまち」になっています。

協働の取組(市の取組) 計画内容		成 果		課題・取組方針		総合評価	
① ふるさと加東への愛着・誇りの醸成【総合戦略】	市民の定住意欲を高めるため、CATVや広報かとう、SNSなどにより、まちの魅力を発信し、郷土の素晴らしさの再認識・発見を促します。また、その魅力をより広く浸透させるため、市民の自主的なプロモーションを促進し、ふるさと加東への愛着や誇りを醸成します。	→	SNSやCATVなどの各種媒体の活用やフォトコンテストの実施などにより、市の情報を発信するとともに市民によるプロモーションを促進し、ふるさと加東への愛着や誇りの醸成につなげた。	→	情報発信については継続して行っていくとともに、発信回数や内容を工夫することでより多くの方に届くものとしていく。	④	一次(内部) B R5 R6 R7
	② 市の認知度の向上【総合戦略】	→	SNSやマスメディアなどの各種媒体、ふるさと納税、都市部イベントへのブース出展を通して、本市の住みよさや本市が誇る特産品を全国に向けて発信した。加えて、ふるさと納税返礼品数の増加やオリジナル返礼品の企画、山田錦PRホームページの制作などに取り組み、さらなる知名度向上につなげた。	→	引き続きSNSやふるさと納税等を通じて市の情報や魅力を広く発信していくとともに、様々な手法を組み合わせて、さらなる知名度向上を図る。		二次(外部) R5 R6 R7
		→		→			
		→		→			
		→		→			
		→		→			【S】全ての指標を達成又は十分な成果があった 【A】全ての指標の達成率が80%以上又は概ね目標とする成果があった 【B】過半数の指標の達成率が60%以上又は一部成果があった 【C】取組(時期・内容)に改善が必要 【一次(内部)評価理由(指標達成度以外で評価した場合)】 各種媒体やイベントを通じて、市内外に向けて広く市の情報を発信することができたが、ふるさと納税の実績が目標(総合戦略KPI14億円)に大きく届かなかったため(実績5.1億円)。 【二次(外部)評価意見等】

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値 下段:実績値					上段:達成率 下段:年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①定住意欲度	市民アンケートにおいて、住み続けたいと思う18～49歳の市民の割合	%	↗	↑	74.7 (R4)	—	—	76.7	—	78.0	—	—	—	—	—
②社会増減数(累計)	転入・転出者数の状況	人	↘	↑	223 (H29～R3)	46 150	92 (R5～R6)	138 (R5～R7)	208 (R5～R8)	278 (R5～R9)	326.1%	★★★	—	—	—

目標値に「—」がある場合は、一次評価理由を記載しています。

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、—:測定不能

①

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段:事務事業内容〔2025(R5)～2026(R8)〕 下段:2023(R5)年度までに完了した取組内容	上段:予算(計画)、中上段:決算【千円】、中下段:執行率、下段:実施有無						成果	自己診断			方向性	方向性の詳細(方向性が「継続」「完了」以外は必ず記載、「継続」の場合はある場合のみ記載)	行財政改革関連事業の成果
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計		必要性	有効性	効率性			
1	① ②	市マスコット活用事業	○	マスコットキャラクター「加東伝の助」の活用推進	558 527	432	432	432		1,854 527	○	中	中	中	継続		
			「戦略」欄が「○」の事業は、重点戦略（総合戦略）に関連する事業であることを表しています。														
				0.0%	0.0%	0.0%	—	28.4%									
2	① ②	シティプロモーション推進事業	○	ブランドイメージの確立、ウェブサイトやSNS等の各種媒体の活用などによる市内への魅力発信	10,325 5,385	8,681	9,781	9,781		38,768 5,385	○	高	高	中	継続		
				51.2%	0.0%	0.0%	0.0%	—	13.9%								
				○	○	○	○										
3	②	ふるさと納税推進事業	○	民間ポータルサイトの活用や返礼品の充実、各種広告などによるふるさと納税の推進	507,261 265,793	401,245	600,000	700,000		2,208,506 265,793	△	高	中	中	継続		返礼品の充実などによりふるさと納税を推進し、自主財源を確保した。
			○	52.4%	0.0%	0.0%	0.0%	—	12.0%								
				○	○	○	○										
4	②	定住移住促進事業	○	「行革」欄が「○」の事業は、「行財政改革関連事業の成果」欄にその成果を記載しています。				4,269		17,347 820	○	中	中	中	見直し	移住相談業務について、外部への委託を廃止し、市総合相談窓口及び兵庫県窓口でのみ実施する。	
						0.0%	—	4.7%									
				○	○	○	○										
5										0	○：十分な成果あり △：一部成果あり ×：成果なし —：未実施						
									0								
									0								
6										0							
									0								
									0								
7										0							
									0								
									0								
8										0							
									0								
									0								
9										0							
									0								
									0								
10										0							
									0								
									0								
予算(計画) 事業費 合計					522,884	414,627	614,482	714,482	0	2,266,475							
決算 事業費 合計					272,525	0	0	0	0	272,525							
執行率					52.1%	0.0%	0.0%	0.0%	—	12.0%							

○ : 十分な成果あり
△ : 一部成果あり
× : 成果なし
— : 未実施

令和 5 年度 第 2 次総合計画 後期基本計画 施策評価シート

(10/11第1回加東市まちづくり推進市民会議資料)

政策	担当部署	頁	主要施策数	主要施策番号	備考
Ⅰ：未来を創造する子どもたちを育む学びのまち	こども未来部	P. 1～15	6	1～6	
	小中一貫教育推進室	P. 1～2	1	1	
	学校教育課	P. 3～10	3	2～4	
	発達サポートセンター	P. 11～12	1	5	
	こども教育課	P. 13～15	1	6	
Ⅱ：学習環境が充実した文化あふれるまち	教育振興部	P. 17～34	5	7～11	
	教育総務課	P. 17～19	1	7	
	生涯学習課	P. 21～31	3	8～10	
	中央図書館	P. 33～34	1	11	

令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート

政 策	I	未来を創造する子どもたちを育む学びのまち	計画書
施 策	1	学校教育の充実	36
主要施策	1	小中一貫教育の推進	ページ

部	こども未来部	課	小中一貫教育推進室	所管部長	田中孝明	作成担当	役職	副課長	氏名	高田篤
				所管課長	丸山真矢		役職		氏名	

将来あるべき姿

小学校と中学校の垣根を越えた系統性や連続性のある小中一貫教育により、ふるさとを愛し、自らの夢に挑む自立した子どもたちが育っています。

協働の取組(市の取組) 計画内容	
① 小中一貫校の整備【総合戦略】	
加東の未来を担う子どもたちによりよい学習環境を提供するため、市内全域での小中一貫校の整備に向けて施設整備を進めるとともに、小中一貫校開校準備委員会において施設のあり方や安全な通学路、校歌、校章などの検討を進めます。	
② 郷土愛の醸成【総合戦略】	
子どもたちの郷土愛を育むため、地域活動への積極的な参加を促進するとともに、「かとう学」副読本を活用したふるさと学習に取り組み、地域について学ぶ機会を充実させます。また、9年間を見通した教育活動のさらなる充実に向けて、ふるさと学習の機会拡充やカリキュラムの改訂に取り組めます。	

成 果
令和3年4月に開校した東条学園に引き続き、社地域(R7.4予定)及び滝野地域(R10.4予定)でも開校に向けて、施設整備及び通学路、校歌、校章などの検討に取り組んだ。東条学園では、1～9年生までが同じ校舎で学び、小学校と中学校の垣根を越えた系統性や連続性のある小中一貫教育やふるさと学習「かとう学」を提供することで、ふるさとを愛し、自らの夢に挑む自立した子どもたちの育成に努めた。
毎年度、ふるさと学習「かとう学」副読本を増刷し、1年生と5年生に配布している。学校の授業で子どもたちが地域について学ぶことで、郷土愛の醸成を図ることができた。

課題・取組方針
建設工事にあたっては、生徒の安全や学校運営と、適正な工事工程の両立を図る必要がある。 通学路の安全・安心を確保するため、地域や学校、関係機関と連携しながら、通学路の選定や安全対策を進める必要がある。
令和8年度の副読本の改訂に向け、令和6～7年度に改訂作業を進めていく。改訂にあたっては、改訂委員会を組織し、地域や企業、各種団体の協力を得ながら進める必要がある。

総合評価	
一次(内部)	A R5 R6 R7
二次(外部)	R5 R6 R7
【S】全ての指標を達成又は十分な成果があった 【A】全ての指標の達成率が80%以上又は概ね目標とする成果があった 【B】過半数の指標の達成率が60%以上又は一部成果があった 【C】取組(時期・内容)に改善が必要	
【一次(内部)評価理由(指標達成度以外で評価した場合)】	
【二次(外部)評価意見等】	

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値 下段:実績値					上段:達成率 下段:年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①中学生(7年生)になることへの不安がない児童の割合	児童生徒アンケートにおいて、中学生(7年生)になることに不安がないと回答した児童の割合	%	—	↑	64.1 (R4)	66.0 66.8	68.0	70.0	72.0	74.0	101.2%				
②ふるさと加東への愛着度	児童生徒アンケートにおいて、自分が住んでいるまちを大切にしたいと回答した児童・生徒の割合	%	→	↑	76.6	77.0 75.4	78.0	79.0	80.0	81.0	97.9%				

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、—:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働 の 取組 番号	事務事業名	戦略 行革	上段:事務事業内容〔2025(R5)～2026(R8)〕 下段:2023(R5)年度までに完了した取組内容	上段:予算(計画)、中上段:決算【千円】、中下段:執行率、下段:実施有無						成果	自己診断			方向性	方向性の詳細(方向性が「継続」「完了」以外は必ず記載、「継続」の場合はある場合のみ記載)	行財政改革関連 事業の成果
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計		必要性	有効性	効率性			
1	①	社地域小中一貫校整備 事業	○	小中一貫校建設工事、長寿命化改修工事、小中一貫校開校準備委員会の運営	5,090,242	3,196,710				8,286,952	○	高	高	中	継続		
				4,030,051					4,030,051								
				79.2%	0.0%	—	—	—	48.6%								
2	①	社地域小中一貫校備品 購入事業	○	社地域小中一貫校増築校舎等に必要な備品の購入	45,884	310,635				356,519	○	中	中	中	継続		
				18,758					18,758								
				40.9%	0.0%	—	—	—	5.3%								
3	①	滝野地域小中一貫校整備 事業	○	用地取得、実施設計、小中一貫校建設工事、小中一貫校開校準備委員会の運営	541,926	711,140	1,611,359	3,622,768		6,487,193	○	高	高	中	継続		
				493,733					493,733								
				91.1%	0.0%	0.0%	0.0%	—	7.6%								
4	①	滝野地域小中一貫校備 品購入事業	○	滝野地域小中一貫校増築校舎等に必要な備品の購入				19,541		19,541	—						
									0								
				—	—	—	0.0%	—	0.0%								
5	①	通学施策確立事業	○	社・滝野地域小中一貫校における安全な通学路・通学手段の設定、地域見守り活動の実施						0	○	高	高	中	継続		
									0								
				東条地域小中一貫校における安全な通学路・通学手段の設定	—	—	—	—	—	—							
6	①	児童・生徒交流事業	○	小学校内の異学年交流、小学校間の児童交流及び小中学校間の児童・生徒交流の実施						0	○	中	高	中	継続		
									0								
				—	—	—	—	—	—								
7	②	小中一貫教育カリキュラ ム作成・活用事業	○	小中一貫校の教科カリキュラムの活用、小中学校教員対象の合同研修会の実施						0	○	高	高	中	継続		
									0								
				—	—	—	—	—	—								
8	②	ふるさと学習推進事業	○	ふるさと学習「かとう学」の副読本増刷及び実施、子どもたちの地域活動への参加促進	2,175	2,199	7,367	1,266		13,007	○	高	高	中	継続		
				2,105					2,105								
				96.8%	0.0%	0.0%	0.0%	—	16.2%								
9										0							
									0								
				—	—	—	—	—	—								
10										0							
									0								
				—	—	—	—	—	—								
予算(計画) 事業費 合計					5,680,227	4,220,684	1,618,726	3,643,575	0	15,163,212							
決算 事業費 合計					4,544,647	0	0	0	0	4,544,647							
執行率					80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	30.0%							

令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート

政策	1	未来を創造する子どもたちを育む学びのまち	計画書
施策	1	学校教育の充実	37
主要施策	2	確かな学力・主体的に学ぶ態度の育成	ページ

部	こども未来部	課	学校教育課	所管部長	田中孝明	作成担当	後職	副課長	氏名	郡龍仁
				所管課長	井上裕子		後職	副課長	氏名	森本恭央
							後職	主査	氏名	福島奨平

将来あるべき姿

「確かな学力」「健やかな体」を育み、ふるさとを愛し、ともに支え合いながら未来を切り拓く子どもたちが育っています。

協働の取組(市の取組) 計画内容
① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取組の推進【総合戦略】 指導の個別化・学習の個性化による個別最適な学びや、多様な他者との協働によるよりよい学びを生み出す協働的な学びを一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組むとともに、教科横断的な学びを進展させ、総合的な学習の時間には、SDGs(持続可能な開発目標)についても理解を深めていきます。また、家庭や地域と連携して補充的な学習や発展的な学習を行える環境を整備し、授業以外での学習習慣の定着や学習環境の整備に取り組めます。
② キャリア教育の充実【総合戦略】 個性を伸ばし、より深い興味関心が持てるよう、特別活動を要にしつつ各教科の特質に応じて子どものキャリア発達につながる視点を重視し、兵庫教育大学との連携を強化するとともに本物の芸術やプロフェッショナルの高度な技能を授業に取り入れます。また、自分の夢や目標を持ち続けられるよう、キャリアパスポートやキャリアノートを積極的に活用します。
③ 英語教育の充実【総合戦略】 臆することなく英語でコミュニケーションできる能力を育成するため、目的や場面、状況を意識した言語活動重視の授業を行うとともに、ALT・地域の外国人住民とのふれあいや対話の機会、身に付けた英語力を試す場を積極的に設けます。
④ 望ましい運動習慣・食習慣の定着【総合戦略】 運動習慣の定着や体力の向上のため、体力テストの分析結果の活用や系統的な学習指導により教科体育を充実させます。また、望ましい食習慣の定着や豊かな心と人間性の育成に向け、食事と健康のつながりや和食文化を学ぶなど、栄養教諭などによる食育指導を充実させます。
⑤ ICTを活用した教育活動の充実【総合戦略】 一人1台パソコンを活用して、児童・生徒が自ら学習を振り返ったり、教師が一人ひとりに応じた指導を実践したりするため、スタディ・ログなどの蓄積・利活用に取り組めます。また、情報活用能力の向上を図るため、プログラミング教育や児童・生徒の主体的な学びを促進する学習活動を計画的に実施します。加えて、情報モラル教育を推進することで、情報を正しく判断し、よりよく活用するとともに、責任をもって情報発信しようとする態度や能力を育成します。

成 果
各校において、全国学力・学習状況調査及び市独自の総合学力調査の結果を分析した。学力向上プロジェクト委員会では、各校の児童生徒のつまづきや改善方法について共有することにより、小中の教職員が共に、課題を踏まえた授業改善に取り組むことができた。また、総合学力調査の結果からわかった苦手分野について、1人1台パソコンを活用し、児童生徒が復習や発展学習に取り組むことができた。自主的な家庭学習、学習習慣の定着を図るため、長期休業中のスタディライフや放課後学習を実施した。
トライやる・ウィークの事後アンケートで、「働くことの大切さ、厳しさ、楽しさ」を実感できた生徒は86%に増え、特別活動を通して将来、社会的に自立できる力を養う土作りができた。また、「かとう夢授業」では、芸術や理科分野、部活動等におけるプロフェッショナルの指導、講演会等において講師の生き方や考え方に触れ、夢や目標に向かう力を育んだ。
ALTを配置し、小中学校英語授業を充実させるとともに、わくわく英語村等の活動を実施することで、児童生徒の興味関心、コミュニケーション能力の向上が見られた。また、小学校での外国語活動や英語教育の充実に向けて、教職員研修を実施し、教員の指導力向上に寄与した。
体力テストの分析結果をもとに、県事業の「体力アップサポーター」や杜高校と連携した「PEマスター」を実施することで、運動意欲・運動能力の向上を図ることができた。また、かとう食給食をはじめ、教育課題チャレンジ事業を活用し、栄養教諭による食育指導を充実させることや、食育推進会議での情報交換や研修を実施することができた。
児童生徒の情報活用能力の育成に向け、教育用pepperやレゴWEDO等のプログラミング教材を導入し、年間指導計画に基づいたプログラミング教育を推進した。また、ICTを効果的に活用した授業研究会や講師を招聘した教員向けの研修を実施し、教員の情報活用能力及び指導力の向上に努めることができた。

課題・取組方針
全国学力・学習状況調査及び加東市総合学力調査の結果分析を踏まえた授業改善を継続し、児童生徒の学力向上を図る。併せて、各教科において、学習への意欲をもち、主体的に学習できる授業づくりについて研究する。
今後も引き続き、トライやる・ウィークの活動を中心に据え、継続的な指導を行い、キャリア教育を通して人間関係形成や社会形成能力の向上を目指す。また、「かとう夢授業」の充実を図る。
今後も引き続き、ALTの配置を行い、教員やALTへの指導力向上研修を実施していくことで、児童生徒が実践的な英語力やコミュニケーション能力を身につけられるような取組を充実させる。
引き続き、体力テストの分析結果をもとに、児童生徒にとってより効果的な指導に取り組むことで、運動意欲や体力の向上につなげる。また食育を通して、食への関心を高めるとともに、児童生徒が 豊かな人間性を育み、生きる力を身につけられるよう取り組む。
引き続き、一人1台パソコンを効果的に活用した授業研究や研修会等を行うことで、教員の情報活用能力の向上を図る。また、児童生徒の情報活用能力、情報モラルの向上のため、適切なプログラミング教材等を導入し、授業等で実施していく。

総合評価				
一次(内部)	B	R5	R6	R7
二次(外部)		R5	R6	R7
【S】全ての指標を達成又は十分な成果があった 【A】全ての指標の達成率が80%以上又は概ね目標とする成果があった 【B】過半数の指標の達成率が60%以上又は一部成果があった 【C】取組(時期・内容)に改善が必要				
【一次(内部)評価理由(指標達成度以外で評価した場合)】				
【二次(外部)評価意見等】				

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値					下段:実績値				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①学校の授業がわかる児童・生徒の割合	児童生徒アンケートにおいて、学校の授業がわかると回答した児童・生徒の割合	%	↗	↑	93.1	94.0 90.1	95.0	96.0	97.0	98.0	95.9% ★★				
②将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合	児童生徒アンケートにおいて、将来の夢や目標を持っていると回答した児童・生徒の割合	%	↘	↑	52.1	54.0 42.3	56.0	58.0	60.0	62.0	78.3% ★				
③英検3級相当以上の英語力を有する生徒の割合	生徒の英語の学習状況(文部科学省『英語教育実施状況調査』)	%	↗	↑	48.3	52.0 47.2	54.0	56.0	58.0	60.0	90.8% ★★				
④朝食を毎日食べている児童・生徒の割合	児童生徒アンケートにおいて、毎日朝食を食べていると回答した児童・生徒の割合	%	↘	↑	79.7	81.0 78.7	82.0	83.0	84.0	85.0	97.2% ★★				
⑤情報収集・資料作成ができる児童・生徒の割合	児童生徒アンケートにおいて、ICT機器を活用した情報の収集、発表資料の作成ができる児童・生徒の割合	%	↗	↑	28.0	32.0 25.6	34.0	36.0	38.0	40.0	80.0% ★★				

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、-:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段:事務事業内容〔2025(R5)～2026(R8)〕 下段:2023(R5)年度までに完了した取組内容	上段:予算(計画)、中上段:決算(千円)、中下段:執行率、下段:実施有無						成果	自己診断			方向性	方向性の詳細(方向性が「継続」「完了」以外は必ず記載、「継続」の場合はある場合のみ記載)	行財政改革関連事業の成果
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計		必要性	有効性	効率性			
1	①	学力向上推進事業	○	学力向上プロジェクト委員会を中心とした指導方法の工夫改善、少人数指導や補充学習の実施、全国学力学習状況調査及び市学力調査(小3～中2)の活用	2,208 1,971	2,290	2,290	2,290		9,078 1,971	△	高	高	中	継続		
					89.3%	0.0%	0.0%	0.0%	—	21.7%							
					○	○	○	○									
2	①	学習支援員配置事業	○	児童生徒へのきめ細かな指導を行うため、学習支援員として、地域人材(教員免許保有者や教員を目指す学生)の各校への配置	8,387 7,874	8,510	8,510	8,510		33,917 7,874	○	高	高	高	継続		
					93.9%	0.0%	0.0%	0.0%	—	23.2%							
					○	○	○	○									
3	①	児童生徒の考える力を高める授業実践事業	○	小中学校の校内研修会(授業づくり)の充実に向けた講師の招聘	350 140	300	250	250		1,150 140	△	中	高	中	継続		
					40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	12.2%							
					○	○	○	○									
4	①	加東スタディライフ実施事業	○	長期休業中に自主的な学習をサポートする場所や支援者を提供するための、指導員として地域人材(教員免許保有者や教員を目指す学生)の配置	628 608	628	628	628		2,512 608	○	高	中	中	継続		
					96.8%	0.0%	0.0%	0.0%	—	24.2%							
					○	○	○	○									
5	①	放課後補充学習推進事業	○	放課後学習の実施及び放課後学習支援員の配置	830 702	830	830	830		3,320 702	○	高	高	中	継続		
					84.6%	0.0%	0.0%	0.0%	—	21.1%							
					○	○	○	○									
6	①	多文化共生推進事業	○	多文化共生サポーターや多言語相談員、こども日本語支援員の派遣による日本語指導が必要な外国人児童生徒への生活・学習支援	3,425 2,256	3,422	3,422	3,422		13,691 2,256	○	高	高	中	継続		
					65.9%	0.0%	0.0%	0.0%	—	16.5%							
					○	○	○	○									
7	①	教育課題チャレンジ事業	○	教職員の自主的な取組による課題意識や実践的指導力の向上推進	400 260	400	400	400		1,600 260	△	高	中	中	継続		
					65.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	16.3%							
					○	○	○	○									
8	①	学習検定(漢検・算検)チャレンジ事業	○	小学3年～6年を対象に「漢検」と「算検」に挑戦する機会の提供		1,556	3,573	3,573		8,702 0	—						
					—	0.0%	0.0%	0.0%	—	0.0%							
						○	○	○									
9	②	プロから学ぶ「かとう夢授業」	○	小学校の理科や図工の授業、中学校の部活動へのスペシャリスト等の招聘	2,300 5,064	4,468	4,468	4,468		15,704 5,064	○	高	高	高	継続		
					220.2%	0.0%	0.0%	0.0%	—	32.2%							
					○	○	○	○									
10	② ④	部活動指導員配置・外部指導者派遣事業	○	中学校部活動への専門的な指導力を有する指導者の派遣、大会引率等ができる部活動指導員の配置	15,809 5,361	16,148	17,662	19,177		68,796 5,361	○	高	高	高	継続		
					33.9%	0.0%	0.0%	0.0%	—	7.8%							
					○	○	○	○									
11	③	語学(英語)指導員派遣事業	○	ALTの配置、かとう英語ライセンス制度や「加東わくわく英語村」の実施、中学生を対象とした英語検定料の助成、英検IBAの実施、オリンピック市との国際交流	39,044 38,846	40,953	40,953	40,953		161,903 38,846	○	高	高	中	継続		
					99.5%	0.0%	0.0%	0.0%	—	24.0%							
					○	○	○	○									

令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート

12	③	小学校外国語教育推進事業	○	教員の英語力・英語指導力向上のための研修の実施、ジョリーフォニックスの導入、GTEC Juniorの実施	1,213	1,259	1,259	1,259		4,990	○	高	高	中	継続		
					1,078					1,078							
					88.9%	0.0%	0.0%	0.0%	—	21.6%							
					○	○	○	○									
13	④	子どもの体力向上推進事業	○	「加東市子どもの体力向上推進委員会」の設置、体力テストや生活実態調査のデータ分析等による中長期的な体力向上推進及び体力向上サポーターとしての県立杜高校生の派遣	914	953	953	953		3,773	○	高	高	中	継続		
					879					879							
					96.2%	0.0%	0.0%	0.0%	—	23.3%							
					○	○	○	○									
14	⑤	ICT教育推進事業	○	小中学校へのICT支援員の派遣、教員研修の実施及び1人1台パソコン活用のための教材の整備	22,457	23,013	23,013	23,013		91,496	○	高	高	高	継続		
					22,302					22,302							
					99.3%	0.0%	0.0%	0.0%	—	24.4%							
					○	○	○	○									
予算(計画) 事業費 合計					97,965	104,730	108,211	109,726	0	420,632							
決算 事業費 合計					87,341	0	0	0	0	87,341							
執行率					89.2%	0.0%	0.0%	0.0%	—	20.8%							

令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート

政策	I	未来を創造する子どもたちを育む学びのまち	計画書
施策	1	学校教育の充実	39
主要施策	3	心の教育の推進	ページ

部	こども未来部	課	学校教育課	所管部長	田中孝明	作成 役職	副課長	氏名	郡龍仁
				所管課長	井上裕子	役職	副課長	氏名	森本恭央
						役職	係長	氏名	石井真史

将来あるべき姿

子どもたちが多様な価値を認め合い、豊かな情操や道德心、差別や偏見を許さない態度や行動、人や社会とかかわる力を身に付け、多様な人と豊かに共生しています。

協働の取組(市の取組) 計画内容		成果		課題・取組方針		総合評価	
① 多様性を認め合う児童・生徒の育成【総合戦略】		夏休み中に、市内の児童会・生徒会が集う「いじめ防止フォーラム」や市内小学校5・6年生、全中学生を対象にした人権教育講演会を実施し、児童生徒が多様な価値観を認め合う場づくりを設定し、自己の言動を振り返ることができた。		引き続き、人権教育の推進を図るとともに、人権・同和教育部会や人権スキルアップ講座で教職員の研修を重ねて、職員全員の人権意識の高揚を図る。		一次(内部) A R5 R6 R7	
② 体験活動の充実【総合戦略】		自然学校では、「児童が自分で考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する力や感動する心が高まった。」との回答が得られた。トライやる・ウィークでは、そのアンケートから「人とふれあうことを楽しかった」と感じたことや「活動を通じて、自身の考えや行動に影響があった」と答えた生徒の割合が大きく増えた。		引き続き、自然学校ならではのプログラムや一貫した事前・事後指導を計画し、児童が主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する力の育成を目指す。		二次(外部) R5 R6 R7	
③ 家庭や地域と連携した道徳教育の推進		全学校においてオープンスクールなどで道徳科の授業を公開し、アンケートを実施することで、保護者が子どもに付けてほしい道徳的感覚について職員間で共通理解を図ることができた。また「道徳スキルアップ支援プログラム」を活用し、教員の人権教育に関する実践的な指導力向上を図ることができた。		引き続き、全学校においてオープンスクールなどで道徳科の授業を公開することで、家庭で道徳の授業や道徳的価値について話し合う機会づくりをし、道徳意識の向上を図る。		【S】全ての指標を達成又は十分な成果があった 【A】全ての指標の達成率が80%以上又は概ね目標とする成果があった 【B】過半数の指標の達成率が60%以上又は一部成果があった 【C】取組(時期・内容)に改善が必要	
						【一次(内部)評価理由(指標達成度以外で評価した場合)】	
						【二次(外部)評価意見等】	

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値 下段:実績値					上段:達成率 下段:年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①困っている人を助ける児童・生徒の割合	児童生徒アンケートにおいて、人が困っているときは、進んで助けると回答した児童・生徒の割合	%	↗	↑	55.6	57.0 53.7	59.0	61.0	63.0	65.0	94.2% ★★				
②人とふれあうことを楽しんでいる生徒の割合	児童生徒アンケートにおいて、トライやる・ウィーク期間中に人とふれあうことを楽しかったと感じた生徒の割合	%	↘	↑	51.4	57.0 57.3	60.0	63.0	65.0	67.0	100.5% ★★★				
③道徳科の授業で自分の考えが深まったと思う児童・生徒の割合	児童生徒アンケートにおいて、道徳科の授業で自らの考えが深まり、グループなどでの活動に取り組む児童・生徒の割合	%	↘	↑	45.0	47.0 43.1	49.0	51.0	53.0	55.0	91.7% ★★				

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、―:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段:事務事業内容〔2025(R5)～2026(R8)〕 下段:2023(R5)年度までに完了した取組内容	上段:予算(計画)、中上段:決算【千円】、中下段:執行率、下段:実施有無						成果	自己診断			方向性	方向性の詳細(方向性が「継続」「完了」以外は必ず記載、「継続」の場合はある場合のみ記載)	行財政改革関連事業の成果	
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計		必要性	有効性	効率性				
1	①	小中学校人権教育講演会事業	○	児童生徒を対象とする人権教育講演会の開催	1,618 1,311 81.0% ○	1,790 0.0% ○	1,790 0.0% ○	1,790 0.0% ○	 — /	6,988 1,311 18.8%	○	高	高	高	継続			
2	①	人権教育スキルアップ事業		人権教育に関する新たな知識を習得するための教職員を対象とした人権教育研修の実施	182 163 89.6% ○	227 0.0% ○	227 0.0% ○	227 0.0% ○	 — /	863 163 18.9%	○	高	高	高	継続			
3	①	児童生徒理解促進事業	○	児童生徒の心理面の把握のためのhyper-QUテストの実施及びその活用	1,778 1,655 93.1% ○	1,772 0.0% ○	1,772 0.0% ○	1,772 0.0% ○	 — /	7,094 1,655 23.3%	○	高	高	高	継続			
4	①	不登校対策事業	○	不登校児童生徒の学校復帰を目指した適応教室での支援や教育相談の実施、研究推進指定校での支援の研究・実践、全小学校5年生を対象とした勇者の旅プログラムの実施	1,929 1,658 86.0% ○	1,433 0.0% ○	1,433 0.0% ○	1,433 0.0% ○	 — /	6,228 1,658 26.6%	○	高	高	高	継続			
5	②	小学校体験活動事業	○	小学生を対象とした体験活動の実施(環境体験事業、自然学校推進事業)	7,887 7,187 91.1% ○	8,791 0.0% ○	8,791 0.0% ○	8,791 0.0% ○	 — /	34,260 7,187 21.0%	○	高	高	高	継続			
6	②	トライやる・ウィーク推進事業	○	中学生を対象としたトライやる・ウィークの実施	2,805 2,035 72.5% ○	2,700 0.0% ○	2,700 0.0% ○	2,700 0.0% ○	 — /	10,905 2,035 18.7%	○	高	高	高	継続			
7	③	道徳教育推進事業		道徳授業の公開による家庭・地域と連携した道徳教育の推進、「特別の教科 道徳」(道徳科)の実施	 — ○	 — ○	 — ○	 — ○	 — /	0 0 —	○	高	高	高	継続			
8					 — /	 — /	 — /	 — /	 — /	0 0 —								
9					 — /	 — /	 — /	 — /	 — /	0 0 —								
10					 — /	 — /	 — /	 — /	 — /	0 0 —								
予算(計画) 事業費 合計					16,199	16,713	16,713	16,713	0	66,338								
決算 事業費 合計					14,009	0	0	0	0	14,009								
執行率					86.5%	0.0%	0.0%	0.0%	—	21.1%								

令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート

政策	1	未来を創造する子どもたちを育む学びのまち	計画書
施策	2	学びや育ちを支える環境づくり	40
主要施策	4	健全な子どもを育てる環境づくり	ページ

部	こども未来部	課	学校教育課	所管部長	田中孝明	作成 役職	副課長	氏名	郡龍仁
				所管課長	井上裕子	役職	副課長	氏名	森本恭央
						役職	青少年センター所長	氏名	花田和典

将来あるべき姿

保護者や地域の人たちが、学校行事や学びの場、地域の活動に積極的に参加して、地域全体で子どもたちを見守り、育てています。

協働の取組(市の取組)	計画内容
① 地域ぐるみの学校教育支援【総合戦略】	地域全体で子どもたちを育むため、学校行事や学びの場、学校ボランティアなど、保護者や地域住民が学校教育を支援する活動に参加する機会を充実させます。
② 学校・家庭・地域の連携【総合戦略】	家庭や地域と学校が目指す子どもの姿を共有し、共に子どもたちの教育に取り組むため、家庭における基本的な生活習慣や学習習慣の確立を図るとともに、学校からの情報発信の充実や、学校運営協議会の設置、地域学校協働本部との連携により、コミュニティスクールとして持続可能な協働体制を構築します。
③ 働きがいのある学校づくり【総合戦略】	教職員が子どもと向き合う時間を確保するために、地域人材を活用してスクール・サポート・スタッフ、部活動指導員などを配置し、心身ともに健康で、専門性を高め、指導力を高められる協働体制を構築します。また、教職員のワーク・ライフ・バランスを推進するため、ノー残業デー、ノー会議デー、ノー部活動デーの完全実施、出張回数削減、校務支援システム活用など、積極的な業務改善に取り組めます。
④ 地域における子どもの安全確保【総合戦略】	子どもたちの安全な登下校支援や健全育成に関わる地域の活動など、加東こども家庭センターや加東警察署などの関係機関と連携して子どもの安全・安心の確保に向けた地域における取組の充実を促進します。

成 果
情報モラル研修会では、対象を小学生中学年からにすることにより、早期啓発を推進できた。保護者がネットや人権について学習することで、毎月のネット見守りの報告では、大きなトラブルにつながる報告はない。
東条学園小中学校において、年間5回の学校運営協議会を開催し、地域住民・保護者・教員が共に目指す子ども像を共有し、地域とともにある学校づくりに努めた。社地域や滝野地域においても学校評議員の意見や保護者アンケートにより、地域や家庭からの意見を生かした学校評価が行われ、教育活動の改善に取り組んだ。学校により、ホームページ及びKCVIによって、学校の様子や取組を伝えるように努めた。ふるさと学習「かとう学」副読本を活用した授業実践を推進することで、ふるさと意識の醸成が図られた。
働き方改革(業務改善)推進委員会では、全職種の方の意見を聞き、互いの職種の理解を深めながら、働きやすい職場環境を推進することができ、教員の意識が高まってきている。また、スクール・サポート・スタッフは全学校11名配置し、教員の業務を助け、協働的に働ける体制ができていた。部活動指導員は12名配置できた。さらに、学校保護者連絡ツールtetoruや自動採点システムの導入により、業務改善が進んだ。
6月、各地区別に、補導委員、学校、PTA、防犯協会、警察等の関係機関が集まり、情報交換を行って連携を図った。また、子どもに関わる声かけや盗撮事案を認知した際は、各学校に情報提供し、子どもの防犯対策の徹底を図った。更に、学校を通じて子ども110番の活動マニュアルの配布警察が作成する防犯、交通安全情報を提供したほか、各学校において不審者対応訓練を実施した。

課題・取組方針
複雑な社会情勢が続くため、子どもや保護者の悩みも多様化することが予想される。子どもを中心に考えて、保護者の思いに寄り添った相談体制を整える必要がある。オンラインを活用し手軽に学べたり、啓発できたりする機会を設定する。
地域学校協働活動のすそ野を広げるとともに、さらなる充実に向け、活動の周知を図る。また、社地域においても、地域と学校が共に学校運営について考え、協働的な教育を創るコミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置する学校)設立に向けて準備を進める。
継続して意識改革を進めると同時に、超過勤務時間の減少に努める。また、定時退勤日の設定時刻を、徐々に退勤時刻に近づけるようにする等、業務スタイルの見直しを行い、各学校において働き方について課題意識をもつ。
関係者からの情報提供が遅れ、安全情報等の速やかな発信ができない場合がある。学校を通じて、不審者情報等は迷うことなく速やかに報告するよう指導する。

総合評価				
一次 (内部)	B	R5	R6	R7
二次 (外部)		R5	R6	R7
【S】全ての指標を達成又は十分な成果があった 【A】全ての指標の達成率が80%以上又は概ね目標とする成果があった 【B】過半数の指標の達成率が60%以上又は一部成果があった 【C】取組(時期・内容)に改善が必要				
【一次(内部)評価理由(指標達成度以外で評価した場合)】 学校・保護者連絡ツール(tetoru)の導入により、保護者からの欠席連絡や学校からの依頼、情報発信等が手軽に行えるようになり、学校の業務改善にもつながった。				
【二次(外部)評価意見等】				

まちづくり指標						年度目標達成状況																
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値					下段:実績値					上段:達成率		下段:年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)							
①子どもの教育活動に協力する市民の割合	市民アンケートにおいて、オープンスクールなどの学校行事や学校でのボランティア活動に参加する市民の割合	%	→	↑	45.7 (R4)	—	—	49.0	—	51.0	—											
②学校オープンに参加する保護者の割合	年度当初の学校オープンに参加した保護者の割合	%	—	↑	—	80.0 61.0	82.0	84.0	86.0	88.0	76.3%											
③1か月の超過勤務時間が80時間超の教職員数	教職員の超過勤務の状況	人	↘	↓	9	7 8	5	3	1	0	87.5%	★										
④子ども(青少年)の安全対策や健全育成に協力する市民の割合	市民アンケートにおいて、青少年の補導活動や地域子ども見守り隊などの活動に参加する市民の割合	%	→	↑	30.9 (R4)	—	—	34.0	—	36.0	—	★★										

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、—:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2026(R8)〕 下段：2023(R5)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算【千円】、中下段：執行率、下段：実施有無						成果	自己診断			方向性	方向性の詳細(方向性が「継続」「完了」以外は必ず記載、「継続」の場合はある場合のみ記載)	行財政改革関連事業の成果
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計		必要性	有効性	効率性			
1	①	保護者等学びの場提供事業	○	青少年健全育成懇談会や情報モラル学習会などの保護者等の学びの場の提供	225	225	225	225		900	○	高	高	高	継続		
					150					150							
					66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	—	16.7%							
					○	○	○	○									
2	①	「いきいき学校」応援事業	○	学校支援ボランティアとして登録された地域住民と連携した地域ぐるみでの体験活動の実施	550	550	350	350		1,800	○	高	高	高	継続		
					490					490							
					89.1%	0.0%	0.0%	0.0%	—	27.2%							
					○	○	○	○									
3	②	スクールソーシャルワーカー配置事業	○	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、福祉部局等と連携した学校内におけるチーム体制の構築による保護者支援の実施	5,069	6,554	6,554	6,554		24,731	○	高	高	高	継続		
					4,775					4,775							
					94.2%	0.0%	0.0%	0.0%	—	19.3%							
					○	○	○	○									
4	②	学校運営協議会制度	○	「地域とともにある学校づくり」を目指し、教育ビジョンを保護者や地域と共有し、目標の実現に向けて協働していくための学校運営協議会の設置・運営	206	226	482	482		1,396	○	高	高	高	継続		
					148					148							
					71.8%	0.0%	0.0%	0.0%	—	10.6%							
					○	○	○	○									
5	②	地域学校協働活動推進員の配置	○	学校と地域の連携・協働体制を整備するため、学校と地域をつなぐコーディネーター役として地域学校協働活動推進員を配置	756	756	1,512	1,512		4,536	○	高	高	高	継続		
					750					750							
					99.2%	0.0%	0.0%	0.0%	—	16.5%							
					○	○	○	○									
6	③	スクールサポートスタッフ配置事業	○	教員が本来の業務に集中し、児童生徒と向き合う時間を確保するため、教員の事務的業務や、新たに加わった感染予防対策のための業務を担うスクールサポートスタッフを配置	14,418	19,281	19,281	19,281		72,261	○	高	高	高	継続		
					12,047					12,047							
					83.6%	0.0%	0.0%	0.0%	—	16.7%							
					○	○	○	○									
7	④	青少年センター運営事業	○	補導委員や地域子ども見守り隊、ネット見守り隊、PTAなどによる安全確保・監視・補導・相談活動の実施、補導委員の研修や広報活動の実施	2,145	2,331	2,331	2,331		9,138	○	高	高	高	継続		
					2,014					2,014							
					93.9%	0.0%	0.0%	0.0%	—	22.0%							
					○	○	○	○									
8										0							
										0							
					—	—	—	—	—	—							
9										0							
										0							
					—	—	—	—	—	—							
10										0							
										0							
					—	—	—	—	—	—							
予算(計画) 事業費 合計					23,369	29,923	30,735	30,735	0	114,762							
決算 事業費 合計					20,374	0	0	0	0	20,374							
執行率					87.2%	0.0%	0.0%	0.0%	—	17.8%							

令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート

政策	1	未来を創造する子どもたちを育む学びのまち	計画書
施策	2	学びや育ちを支える環境づくり	41
主要施策	5	インクルーシブ教育充実のための支援	ページ

部	こども未来部	課	発達サポートセンター	所管部長	田中孝明	作成担当	役職	主事	氏名	竹中清陽
				所管課長	友藤由貴子		役職		氏名	

将来あるべき姿
支援が必要な子どもに対して、幼児期から就労までの生涯を見通した切れ目のない支援を行うことで、自立した生活を送ることができています。

協働の取組(市の取組) 計画内容		成 果		課題・取組方針		総合評価	
① 相談・連携体制の強化【総合戦略】	支援が必要な子どもが適切な支援を切れ目なく受けることができるよう、サポートファイルの作成を促し、相談・連携体制を強化します。また、多職種が連携し、保護者や学校・園の職員に対して、合理的配慮などの支援方法を伝えます。	⇒	特別支援教育コーディネーターネットワーク会議を実施し、延べ74人の参加者に対して、サポートファイルの重要性について周知し、作成を推進した。また、相談へ学校・園の職員の同席を促すことにより、保護者と延べ241人の学校・園の職員との連携を図ることができた。	⇒	サポートファイルの作成の促進だけではなく、サポートファイルの意義の周知及び活用の促進を行う必要があるため、市民への周知をHP等にて行う。	一次(内部) A R5 R6 R7 二次(外部) R5 R6 R7 【S】全ての指標を達成又は十分な成果があった 【A】全ての指標の達成率が80%以上又は概ね目標とする成果があった 【B】過半数の指標の達成率が60%以上又は一部成果があった 【C】取組(時期・内容)に改善が必要 【一次(内部)評価理由(指標達成度以外で評価した場合)】 【二次(外部)評価意見等】	
	② 一人ひとりの特性に合った療育等の提供【総合戦略】	⇒	延べ103人の子どもに対して個別・集団療育を、延べ18人の保護者に対してペアレントトレーニングを実施し、親子の良好な関係づくりを支援した。また、発達障害などへの理解を深めるため、全7回延べ280人の参加者に対して研修を行った。	⇒	療育等の事業については、引き続き行う。		
		⇒		⇒			
		⇒		⇒			
		⇒		⇒			

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値 下段:実績値					上段:達成率 下段:年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①関係機関と連携をとることができた相談の割合	全体の相談件数のうち、関係機関と連携することができた相談件数の割合	%	—	↑	85.1 (R4)	85.1 96.0	85.1	85.5	85.5	86.0	112.8% ★★★				
②個別・集団療育の参加者数	発達サポートセンターで行っている個別・集団療育の参加者数	人	↘	→	25	25 24	25	25	25	25	96.0% ★★				

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、—:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段:事務事業内容〔2025(R5)～2026(R8)〕 下段:2023(R5)年度までに完了した取組内容	上段:予算(計画)、中上段:決算【千円】、中下段:執行率、下段:実施有無						成果	自己診断			方向性	方向性の詳細(方向性が「継続」「完了」以外は必ず記載、「継続」の場合はある場合のみ記載)	行財政改革関連事業の成果
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計		必要性	有効性	効率性			
1	①	相談事業	○	臨床心理士・保健師・教育相談支援員による相談、医師による発達相談、臨床心理士による発達検査等の実施	3,388	3,602	3,602	3,602		14,194	○	高	高	中	継続	相談の受付にDXを導入し、受付及び案内の効率を向上させる。新規相談事業を開始し、新規相談者の参入を促す。	
					3,118					3,118							
					92.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	22.0%							
					○	○	○	○									
2	①	巡回相談事業	○	学校・園への巡回による合理的配慮等についての助言、サポートファイル作成の推進	568	793	793	793		2,947	○	高	高	高	継続		
					390					390							
					68.7%	0.0%	0.0%	0.0%	—	13.2%							
					○	○	○	○									
3	①	発達サポートセンター運営事業	○	発達サポートセンターの運営、施設維持管理	41,186	3,648	3,648	3,648		52,130	○	中	中	高	継続		
					37,919					37,919							
				屋根・外壁等の改修工事	92.1%	0.0%	0.0%	0.0%	—	72.7%							
					○	○	○	○									
4	②	療育事業	○	支援が必要な子どもの早期発見及び特性を理解した早期支援、集団生活等に必要能力を身に付けるための集団・個別療育の実施、保護者が子どもとの関わり方を学ぶペアレントトレーニングの実施	489	738	738	738		2,703	○	高	高	高	継続		
					442					442							
					90.4%	0.0%	0.0%	0.0%	—	16.4%							
					○	○	○	○									
5	②	研修・啓発事業	○	市民や教育・福祉従事者を対象とした発達障害等への理解促進のための研修の実施	482	490	490	490		1,952	○	高	高	中	継続		
					319					319							
					66.2%	0.0%	0.0%	0.0%	—	16.3%							
					○	○	○	○									
6										0							
										0							
					—	—	—	—	—	—							
7										0							
										0							
					—	—	—	—	—	—							
8										0							
										0							
					—	—	—	—	—	—							
9										0							
										0							
					—	—	—	—	—	—							
10										0							
										0							
					—	—	—	—	—	—							
予算(計画) 事業費 合計					46,113	9,271	9,271	9,271	0	73,926							
決算 事業費 合計					42,188	0	0	0	0	42,188							
執行率					91.5%	0.0%	0.0%	0.0%	—	57.1%							

令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート

政 策	1	未来を創造する子どもたちを育む学びのまち	計画書
施 策	2	学びや育ちを支える環境づくり	42
主要施策	6	幼児教育と保育サービス等の充実	ページ

部	子ども未来部	課	子ども教育課	所管部長	田中孝明	作成 担当	役職	副課長	氏名	丸山久美子
				所管課長	下岡正裕		役職	係長	氏名	金高将彦

将来あるべき姿
幼児教育・保育を充実させるとともに、子どもや子育て家庭のニーズに応じた多様な保育サービスなどを提供することで、地域で安心して子育てができ、人間性豊かな子どもたちがすくすく育っています。

協働の取組(市の取組) 計画内容		成 果	課題・取組方針	総合評価
① 幼児教育・保育の充実【総合戦略】	子育て家庭の多様なニーズに応じた質の高い幼児教育・保育を提供するため、保育士、幼稚園教諭などの資質や専門性の向上に取り組むとともに、幼児期からの人権教育を推進します。また、私立保育所・認定こども園などの施設整備や保育士の就労支援などにより保育の受け皿を確保し、保育所・認定こども園の待機児童・保留児童を解消します。	⇒ ・市内私立認定こども園等に就職する保育士等を対象に補助金の交付や、兵庫県保育協会加東支部と連携して就職フェアを開催するなど、保育士等の確保に取り組み、保育の質の向上につなげた。 ・令和5年11月から公立園において使用済みおむつの処分を開始し、保護者の負担軽減を図った。また、私立園に対し使用済みおむつの処分に係る補助金を交付し、園での処分を推奨した。	⇒ ・保育士等の就労支援など、保育の受け皿の確保対策に継続して取り組むことで、待機児童ゼロの達成・継続を目指す。 ・保留児童の解消に向けて、必要な対策に取り組む。 ・「こども誰でも通園制度」の本格実施を見据え、受け皿の確保など必要な準備を進める。	【一次(内部)】 A R5 R6 R7 【二次(外部)】 R5 R6 R7 【S】全ての指標を達成又は十分な成果があった 【A】全ての指標の達成率が80%以上又は概ね目標とする成果があった 【B】過半数の指標の達成率が60%以上又は一部成果があった 【C】取組(時期・内容)に改善が必要 【一次(内部)】評価理由(指標達成度以外で評価した場合) 就労支援による保育士等の確保や質の向上などにより、幼児教育・保育の充実を図るとともに、多様な保育サービスの提供による子育て家庭の支援などにより、一定の成果があった。 【二次(外部)】評価意見等
② 多様な保育サービスの提供と情報提供の充実【総合戦略】	放課後児童健全育成事業や子育て援助活動支援事業、病児・病後児保育などの提供に取り組むとともに、家庭の事情で突発的に子育て支援を受けたい方のために、新たな一時預かりサービスを検討します。保護者が安心して子育てを行うことができるよう、子育てサークル活動の活性化を支援するとともに、児童館や兵庫教育大学子育て支援ルーム「かとうGENKi」において親子の交流機会の提供や子育てに関する情報提供、相談を行います。	⇒ ・放課後児童健全育成事業(アフタースクール)や病児・病後児保育などを実施し、子育て家庭の就労と子育ての両立を支援した。 ・アフタースクールを小中一貫校単位で運営するため、社地域は基本設計・実施設計、滝野地域は基本設計に取り組んだ。また、東条地域については、令和6年4月からコミュニティセンター東条会館1か所に集約して運営できるよう準備を進めた。 ・市内4か所で地域子育て支援拠点事業を実施し、子育て中の親子の交流や育児相談・情報提供等を行うことで、保護者の子育ての不安・負担感の軽減を図り、子育て家庭を支援した。	⇒ ・アフタースクールの受入れ体制を整え、待機児童ゼロの達成・継続を目指す。 ・アフタースクールを小中一貫校開校に合わせて運営できるよう、引き続き必要な準備を進める。	
		⇒	⇒	
		⇒	⇒	
		⇒	⇒	

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値 下段:実績値					上段:達成率 下段:年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①②幼児教育・保育サービス等の取組に関する満足度	市民アンケートにおいて、幼児教育・保育サービスなどの取組を満足と感じる市民の割合	%	↗	↑	76.9 (R4)	—	—	78.0	—	79.0	—	—	—	—	—
②地域子育て支援拠点の来館者数	各児童館とかとうGENKiの来館者数	人	↘	↑	37,589	71,000 62,890	71,800	72,500	73,200	73,900	88.6%	—	—	—	—
											★★				

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、—:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段:事務事業内容〔2025(R5)～2026(R8)〕 下段:2023(R5)年度までに完了した取組内容	上段:予算(計画)、中上段:決算【千円】、中下段:執行率、下段:実施有無						成果	自己診断			方向性	方向性の詳細(方向性が「継続」「完了」以外は必ず記載、「継続」の場合はある場合のみ記載)	行財政改革関連事業の成果
					2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	合計		必要性	有効性	効率性			
1	①	教育無償化保育料軽減事業	○	幼児教育・保育の無償化による国立大学附属幼稚園の保育料並びに幼稚園・認定こども園の預かり保育及び認可外保育施設等の利用料に対する「子育てのための施設等利用給付」の実施	13,470 9,650 71.6% ○	12,139 0.0% ○	13,000 0.0% ○	13,000 0.0% ○		51,609 9,650 18.7% △	○	中	中	中	継続		
2	①	幼児期人権教育事業	○	3～5歳児を対象とした絶対人権感覚を養う実践プログラムの実施、認定こども園・保育所の職員に対するプログラム実施に係る支援、子育て講座の実施	335 334 99.7% ○	383 0.0% ○	390 0.0% ○	390 0.0% ○		1,498 334 22.3% △	○	中	中	中	継続		
3	①	公立こども園等運営事業	○	通常保育及び特別保育(延長保育、一時預かり、休日保育及び障害児等保育)の実施並びに管理運営、公立認定こども園等の集約に向けた準備、職員の効率的配置	65,525 60,176 91.8% ○	75,531 0.0% ○	55,000 0.0% ○	55,000 0.0% ○		251,056 60,176 24.0% △	○	高	中	中	継続		集約に向けて公立3園の交流保育を増やしたことにより、園児や保護者の安心につながったほか、職員間で情報共有できた。
4	①	保育所運営事業	○	私立保育所、認定こども園等への運営補助、特別保育の実施に対する補助、園外活動のためのバス借上げに係る補助、保育士等確保のための一定期間勤務した新規採用者への補助、県モデル事業の活用による子育て支援カウンセラーの配置	1,430,811 1,445,538 101.0% ○	1,478,967 0.0% ○	1,500,000 0.0% ○	1,500,000 0.0% ○		5,909,778 1,445,538 24.5% △	○	高	中	中	継続		
5	①	保育料軽減事業	○	保育所等に通う子ども(第1子から)に係る保育料の一部助成	7,680 6,541 85.2% ○	7,680 0.0% ○	7,700 0.0% ○	7,700 0.0% ○		30,760 6,541 21.3% △	○	中	中	中	継続		
6	① ②	児童福祉事業	○	保育士等キャリアアップ研修会及び就職フェアの実施、子ども・子育て会議の運営、第3期子ども・子育て支援事業計画の策定	4,889 1,989 40.7% ○	11,848 0.0% ○	1,900 0.0% ○	1,900 0.0% ○		20,537 1,989 9.7% △	○	中	中	中	継続		
7	① ②	特別保育事業	○	私立保育所及び認定こども園が行う特別保育事業(延長保育、一時預かり)に対する補助	26,983 32,021 118.7% ○	27,804 0.0% ○	27,000 0.0% ○	27,000 0.0% ○		108,787 32,021 29.4% △	○	中	中	中	継続		
8	②	病児・病後児保育事業	○	病児病後児保育施設「かっこ」における、病気等により家庭や集団での保育が困難である児童の一時的な保育の実施、建物の点検調査	8,996 9,212 102.4% ○	9,060 0.0% ○	10,000 0.0% ○	12,000 0.0% ○		40,056 9,212 23.0% △	○	中	中	中	継続		
9	②	アフタースクール運営事業	○	全小学校区を対象とした放課後時の児童の預かり、放課後児童支援員等の処遇改善を図るための賃上げ原資の補助	109,495 96,559 88.2% ○	108,077 0.0% ○	116,000 0.0% ○	1,376,000 0.0% ○		1,709,572 96,559 5.6% △	○	高	中	中	継続		
10	②	アフタースクール施設整備事業	○	小中一貫校開校に合わせて、アフタースクールを小中一貫校単位に集約するための実施設計、施設整備工事	23,250 16,822 72.4% ○	468,326 0.0% ○		2,000 0.0% ○		493,576 16,822 3.4% △	○	高	高	中	継続		・東条地域アフタースクールを1か所に集約して運営するための準備を進めた。 ・小中一貫校単位に集約するため、基本設計・実施設計に取り組んだ。
11	②	ファミリー・サポート・センター事業	○	育児に支援が必要な方と支援できる方との相互援助活動の調整	3,574 3,534 98.9% ○	4,039 0.0% ○	4,100 0.0% ○	4,100 0.0% ○		15,813 3,534 22.3% △	○	中	中	中	継続		

令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート

12	②	児童館運営事業	○	児童厚生員等の指導による親子活動の実施、児童館の管理運営、新たな一時預かり事業の検討、滝野児童館の大規模改修、社児童館の空調更新	32,085	87,424	10,000	20,000		149,509	○	中	中	中	継続		
				29,525					29,525								
				92.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	19.7%								
13	②	重層的支援体制整備事業(利用者支援事業)	○	やしんこどものいえ及び東条鯉こいランドでの子育てに関する情報提供、相談及び支援制度の紹介	6,246	6,792	6,800	6,800		26,638	○	中	中	中	継続		
				6,175					6,175								
				98.9%	0.0%	0.0%	0.0%	—	23.2%								
				○	○	○	○										
14	②	重層的支援体制整備事業(地域子育て支援拠点事業)	○	子育て親子への学習・交流・集いの場の提供、子育て相談の実施、サークル活動の支援、兵庫教育大学「かとうGENKI」への地域子育て支援拠点事業の委託	35,479	41,619	42,000	42,000		161,098	○	中	中	中	継続		
				34,621					34,621								
				97.6%	0.0%	0.0%	0.0%	—	21.5%								
				○	○	○	○										
予算(計画) 事業費 合計					1,768,818	2,339,689	1,793,890	3,067,890	0	8,970,287							
決算 事業費 合計					1,752,697	0	0	0	0	1,752,697							
執行率					99.1%	0.0%	0.0%	0.0%	—	19.5%							

令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート

政策	Ⅱ	学習環境が充実した文化あふれるまち	計画書
施策	1	学校教育環境の充実	44
主要施策	7	学校教育環境の整備充実	ページ

部	教育振興部	課	教育総務課	所管部長	鈴木敏久	作成担当	役職	副課長	氏名	堅田美佳
				所管課長	西山英希		役職	係長	氏名	長谷川裕香
								主査	氏名	鷹尾実和

将来あるべき姿
安全で快適な教育環境が整い、子どもたちが充実した学校生活を送っています。

協働の取組(市の取組) 計画内容		成果		課題・取組方針		総合評価	
① 学校教育施設や設備の整備・維持管理【総合戦略】		小中一貫校の整備を見据えた適切な維持管理、改修を行い、安全・安心で快適な教育環境を確保した。 また、ネットワーク機器や校務サーバを更新し、高速大容量通信環境の整備による、ICT教育環境の充実を図った。		小中一貫校の整備を見据えた施設の管理が必要であるため、学校や関係部局等と密に調整し、維持管理、改修を実施していく。 また、継続してICT環境の充実を図り、個別最適化の学習や教職員の働き方改革を推進するため、端末等機器の計画的、効率的な導入、更新に取り組んでいく。		一次(内部) A R5 R6 R7	
児童・生徒が安全、快適に学校生活を送ることができるよう、学校施設を適切に維持管理するとともに、長寿命化を図るため、計画的に改修します。また、高速大容量通信環境の整備など、ICT教育環境の充実に向けた取組を進めます。		→		→		二次(外部) R5 R6 R7	
② 就学援助の実施と学校給食の充実【総合戦略】		学校や福祉部局と連携して制度を周知し、学用品費などを援助することで、義務教育の円滑な実施が推進できた。 また、市立学校に通う児童生徒の2学期以降の給食費を無償化するとともに、市立学校以外に通う児童生徒の世帯に支援金を交付し、子育て世帯の経済的負担軽減を図った。 加えて、「かとう夢プラン」による季節感のある食材や地産地消を活かした給食の提供により、安全・安心で、食の楽しさを感じられる給食を提供できた。		児童生徒やその世帯の状況を踏まえ、就学の促進、教育の機会均等、義務教育の円滑な実施とともに、子育て世代の経済的負担軽減を図るため、継続して事業を実施していく必要がある。 また、安全・安心で、楽しい給食を提供するため、食育や地産地消の更なる推進に取り組んでいく。 加えて、更なる安全・安心な給食の提供を進めるため、アレルギー食への対応に取り組む必要がある。		【S】全ての指標を達成又は十分な成果があった 【A】全ての指標の達成率が80%以上又は概ね目標とする成果があった 【B】過半数の指標の達成率が60%以上又は一部成果があった 【C】取組(時期・内容)に改善が必要 【一次(内部)評価理由(指標達成度以外で評価した場合)】 これまでの取組みに加え、大容量のデータを支障なく扱え、よりセキュリティを向上させたICTの整備とともに、国の交付金を活用した子育て世帯への経済的負担軽減のための支援に積極的に取り組んだため。 【二次(外部)評価意見等】	
		→		→			
		→		→			
		→		→			
		→		→			

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値 下段:実績値					上段:達成率 下段:年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
① ICT機器の使用が学習に役立つと思う児童・生徒の割合	児童生徒アンケートにおいて、ICT機器の使用が学習に役立つと思う児童・生徒の割合	%	↗	↑	65.1 (R4)	66.0 70.4	67.0	68.0	69.0	70.0	106.7%	★★★			
① ② 学校教育環境の整備充実に対する満足度	市民アンケートにおいて、学校教育環境の整備充実について満足と感じる市民の割合	%	↗	↑	83.1 (R4)	— —	—	85.1	—	86.1	— —	—			
② 学校給食の副食(野菜)における市内産食材の使用割合	学校給食において、副食(野菜)に占める市内産食材の割合	%	→	↑	25.1	26.0 25.8	27.0	28.0	29.0	30.0	99.2%	★★			

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、—:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2026(R6)〕 下段：2023(R5)年度までに完了した取組内容	上段：予算(計画)、中上段：決算【千円】、中下段：執行率、下段：実施有無						成果	自己診断			方向性	方向性の詳細(方向性が「継続」「完了」以外は必ず記載、「継続」の場合はある場合のみ記載)	行財政改革関連事業の成果
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計		必要性	有効性	効率性			
1	①	教育振興基本計画策定事業	○	第4期教育振興基本計画の策定	0		3,612	1,000		4,612	—						
					0					0							
					—	—	0.0%	0.0%	—	0.0%							
2	①	教育・校務用情報システム管理事業	○	校務支援システム(クラウド)の運用	5,365	3,634	3,634	7,200	7,200	27,033	○	中	中	中	継続		
					7,792					7,792							
					145.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.8%							
3	①	ICT支援事業	○	ICT支援員の配置	15,928	18,546	18,546	18,546	18,546	90,112	○	中	中	中	継続		
					14,996					14,996							
					94.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.6%							
4	①	小学校ICT教育等環境整備事業	○	教育用・校務用パソコンの更新、電子黒板の更新、学習者用端末の更新、教師用教科書・指導書の購入、デジタル教科書の更新	35,364	54,296	92,608	21,680	20,927	224,875	○	中	中	中	継続		
					36,657					36,657							
					103.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.3%							
5	①	中学校ICT教育等環境整備事業	○	教育用・校務用パソコンの更新、電子黒板の更新、学習者用端末の更新、教師用教科書・指導書の購入、デジタル教科書の更新	5,787	10,094	54,693	10,465	9,821	90,860	○	中	中	中	継続		
					9,668					9,668							
					167.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.6%							
6	①	小学校施設整備事業	○	老朽施設の補修・改修、社地域閉校後施設改修の実施	30,626	27,189	15,000			72,815	○	中	中	中	継続		
					25,199					25,199							
					82.3%	0.0%	0.0%	—	—	34.6%							
7	①	中学校施設整備事業	○	老朽施設の補修・改修の実施	3,769	91,887				95,656	○	中	中	中	継続		
					27,486					27,486							
				東条学園小中学校のテニスコート整備に着手	729.3%	0.0%	—	—	—	28.7%							
8	①	小学校管理事務事業	○	特殊建築物定期調査の実施、児童机椅子更新	24,618	23,736	5,466	2,111		55,931	○	中	中	中	継続		
					22,409					22,409							
					91.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	40.1%							
9	①	中学校管理事務事業	○	特殊建築物定期調査の実施、生徒机椅子更新	9,608	10,498	3,155	1,008		24,269	○	中	中	中	継続		
					8,678					8,678							
					90.3%	0.0%	0.0%	0.0%	—	35.8%							
10	②	スクールバス運行管理事業	○	小中一貫校スクールバスの運行管理	22,373	25,830	140,681	139,069	139,069	467,022	○	中	中	中	継続		
					25,161					25,161							
					112.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%							
11	②	スクールバス安全装置設置事業	○		1,000					1,000	○	中	中	中	完了		
					660					660							
				スクールバス(5台)への安全装置設置	66.0%	—	—	—	—	66.0%							

12	②	給食施設管理運営事業	安全・衛生管理、連続揚物機・焼物機更新	550	40,913				41,463	○	中	中	中	継続		
				0					0							
				0.0%	0.0%	—	—	—	0.0%							
				○	○											
13	②	学校給食材料購入事業	○ 学校給食の食材購入及び炊飯・製パン加工業務委託	161,131	171,499	171,499	171,499		675,628	○	中	中	中	継続		
				160,652					160,652							
				99.7%	0.0%	0.0%	0.0%	—	23.8%							
				○	○	○	○									
14	②	小学校就学援助事務事業	○ 経済的な理由によって就学困難な児童の保護者に対する学用品費や給食費などの一部援助	30,382	19,380	19,380	19,380		88,522	○	中	中	中	継続		
				28,005					28,005							
			9校へ制度の周知を行い、338人に学用品費やオンライン学習通信費などの援助を実施	92.2%	0.0%	0.0%	0.0%	—	31.6%							
				○	○	○	○									
15	②	中学校就学援助事務事業	○ 経済的な理由によって就学困難な生徒の保護者に対する学用品費や給食費などの一部援助	21,029	13,787	13,787	13,787		62,390	○	中	中	中	継続		
				18,080					18,080							
			4校へ制度の周知を行い、175人に学用品費やオンライン学習通信費などの援助を実施	86.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	29.0%							
				○	○	○	○									
16	②	小中学校給食費無償化事業	○ 学校給食費の無償化による子育て世帯への支援	21,029	20,123	20,123	20,123		81,398	○	高	中	中	継続		
				10,364					10,364							
			2学期、3学期の加東市立小中学校の給食費を無償化し、加東市立外の学校へ通う児童生徒の保護者に給食費相当額を支援	49.3%	0.0%	0.0%	0.0%	—	12.7%							
				○	○	○	○									
17	②	給食費等子育て世帯負担軽減事業(小中学生分)	○ 物価高騰の影響を受ける子育て世帯への支援金の支給	306					306	○	高	中	中	完了		
				153					153							
			(小中学生の)子育て世帯へ支援金を支給	50.0%	—	—	—	—	50.0%							
				○												
18	②	子どもの貧困対策連携事業	○ 関係部局との連携による子どもの貧困対策に係る支援の円滑な推進	0					0	○	中	中	中	継続		
				0					0							
			関係部局と連携して各種支援を推進	—	—	—	—	—	—							
				○	○	○	○									
予算(計画) 事業費 合計				388,865	531,412	562,184	425,868	195,563	2,103,892							
決算 事業費 合計				395,960	0	0	0	0	395,960							
執行率				101.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%							

政策	Ⅱ	学習環境が充実した文化あふれるまち	計画書
施策	2	生涯学習の充実	45
主要施策	8	市民文化の創造の促進	ページ

部	教育振興部	課	生涯学習課	所管部長	鈴木敏久	作成担当	役職	副課長	氏名	大西直美
				所管課長	岸本孝司		役職		氏名	

将来あるべき姿
文化芸術に触れる機会が提供され、多世代が関わり合った地域文化を形成し、地域の伝統を次世代に継承しています。

協働の取組(市の取組) 計画内容		成果	課題・取組方針	総合評価
①文化芸術に触れる機会の充実【総合戦略】	地域における伝統文化などの文化芸術の振興を図るため、世代を超えて鑑賞できる文化芸術の場を提供するとともに、気軽に参加できるふれあいや活動、体験の機会を確保します。また、多分野、多世代の文化芸術団体が一堂に会する発表の場や機会の充実に取り組みます。	日本木管コンクール(クラリネット部門)やおんかつ、NHK交響楽団特別コンサートマスターによる演奏等、市民にレベルの高い演奏に触れる機会を提供することで、文化芸術に対する関心を深めることができた。 日頃の成果の発表や、市の文化の育成を目指すために、公募美術展、加東市文化祭、加東市文化連盟祭を開催し、交流を深めるとともに、文化の育成が図れた。	芸術・文化活動の振興を目指し、イベント等において、多世代の参加者・観覧者を集めるべく、各事業に対して、より一層若い世代の参加が増える取組を企画し実施するとともに、各種団体の活動を支援し、後継者の育成に努めていく。	【S】全ての指標を達成又は十分な成果があった 【A】全ての指標の達成率が80%以上又は概ね目標とする成果があった 【B】過半数の指標の達成率が60%以上又は一部成果があった 【C】取組(時期・内容)に改善が必要 【一次(内部)評価理由(指標達成度以外で評価した場合)】 質の高い文化芸術に触れる機会を提供し、市民の芸術文化に対する興味・関心や、意識の向上に貢献できた。 【二次(外部)評価意見等】
②文化財の有効活用【総合戦略】	歴史的事象や地元の著名な人物などを紹介するとともに、加古川流域滝野歴史民俗資料館などの来館者増加に向けた取組を進めます。また、文化財の価値や魅力を広く周知し、その価値や魅力をさらに高めるため、文化財を活用した事業やイベントを実施します。	地域主催のイベントにおいて地元の文化財に関する解説を加えることで、理解をより深めてもらう機会となった。 市内外の歴史を愛好する方々への継続した情報発信を行うことで、関心を途絶えさせることなく、地域交流の土壌や観光資源としての基盤をより強固にできた。	地域発信による取組を恒例化させるため、積極的に支援していく。 地域の伝統行事の継続維持を促し、文化財を通じた地域内外の交流と観光流入を後押しすることで、歴史文化に根差したまちづくりを一層進め、地域興しをさらに高めていく。	

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標名	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値 下段:実績値					上段:達成率 下段:年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①文化・芸術に関する施策の重要性	市民アンケートにおいて、文化・芸術に関する施策を重要だと感じる市民の割合	%	↗	↑	69.1 (R4)	—	—	70.5	—	71.5	—	—	—	—	—
②加古川流域滝野歴史民俗資料館、三草藩武家屋敷旧尾崎家の来館者満足度	来館者アンケートにおいて、施設内の展示物などを満足と感じる方の割合	%	→	↑	91.5	92.0 93.3	92.5	93.0	93.5	94.0	101.4% ★★★	—	—	—	—
②文化財等の啓発活動回数	文化財等の価値や魅力を伝える啓発活動の実施状況	回	↗	↑	17	17 9	17	18	18	18	52.9% ☆	—	—	—	—

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、—:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段:事務事業内容〔2025(R5)～2026(R8)〕 下段:2023(R5)年度までに完了した取組内容	上段:予算(計画)、中上段:決算【千円】、中下段:執行率、下段:実施有無						成果	自己診断			方向性	方向性の詳細(方向性が「継続」「完了」以外は必ず記載、「継続」の場合はある場合のみ記載)	行財政改革関連事業の成果
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計		必要性	有効性	効率性			
1	①	文化祭事業	○	子ども美術作品展及び公民館サークル作品展の開催	240	464	464	464		1,632	○	中	低	低	見直し	子ども美術作品展は市として実施するのではなく、各学校園での作品展示を充実させるよう調整し、加東市文化連盟が主催することも絵画展に事業を統合したい。	
					105					105							
					43.8%	0.0%	0.0%	0.0%	—	6.4%							
2	①	公募美術展事業	○	公募美術展の開催	1,889	1,921	1,921	1,921		7,652	○	高	中	中	継続		
					1,745					1,745							
					92.4%	0.0%	0.0%	0.0%	—	22.8%							
3	①	ギャラリー活用事業	○	市収蔵品展等の開催	192	349	349	349		1,239	○	高	中	中	継続		
					173					173							
					90.1%	0.0%	0.0%	0.0%	—	14.0%							
4	①	伝の助かるた大会	○	伝の助かるた大会の開催	111	121	121	121		474	○	高	中	中	継続		
					108					108							
					97.3%	0.0%	0.0%	0.0%	—	22.8%							
5	①	文化事業開催委託	○	文化振興団体への委託による幅広い年齢層の趣味・嗜好を考慮したさまざまなイベントの開催	24,231	29,347	29,347	29,347		112,272	○	高	高	中	継続		
					24,231					24,231							
					100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	21.6%							
6	①	文化振興事務	○	文化振興各種団体への支援、地域の文化芸術活動や後継者育成に対する支援、多分野・多世代・市内外の団体間の文化交流機会の提供	1,757	1,757	1,757	1,757		7,028	○	高	高	中	継続		
					1,757					1,757							
					100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	25.0%							
7	①	やしろ国際学習塾整備事業		長寿命化計画に基づく施設修繕	100,852	13,954	50,900	16,000		181,706	○	高	高	中	継続		
					74,333					74,333							
					73.7%	0.0%	0.0%	0.0%	—	40.9%							
8	①	やしろ国際学習塾管理運営事業		指定管理者によるやしろ国際学習塾の管理運営	58,000	59,540	59,540	59,540		236,620	○	高	高	中	継続		
					58,045					58,045							
					100.1%	0.0%	0.0%	0.0%	—	24.5%							
9	①	東条文化会館管理運営事業		指定管理者による東条文化会館の管理運営	18,727	20,978	21,294	22,084		83,083	○	高	高	中	継続		
					18,044					18,044							
					96.4%	0.0%	0.0%	0.0%	—	21.7%							
10	②	文化財保護対策事業	○	文化財の保全・啓発、潜在的な歴史的対象や著名人等の掘り起こし	3,757	3,434	2,773	2,773		12,737	○	高	高	高	継続		
					3,925					3,925							
					104.5%	0.0%	0.0%	0.0%	—	30.8%							
11	②	埋蔵文化財調査事業		開発等に伴う試掘調査の実施	3,603	1,076	1,076	1,076		6,831	○	高	中	高	継続		
					1,654					1,654							
					45.9%	0.0%	0.0%	0.0%	—	24.2%							

12	②	歴史民俗資料館管理運営事業	○	歴史民俗資料館の管理運営、市民等を対象とした文化財資料の展示会及び関連する講座・講演会等の開催	976	980	980	980		3,916	○	中	中	中	継続		
					915					915							
					93.8%	0.0%	0.0%	0.0%	—	23.4%							
13	②	三草藩武家屋敷管理運営事業		三草藩武家屋敷の管理運営	○	○	○	○			○	中	中	中	継続		
					1,303	1,373	1,373	1,373		5,422							
					1,185					1,185							
				90.9%	0.0%	0.0%	0.0%	—	21.9%								
				○	○	○	○										
予算(計画) 事業費 合計					215,638	135,294	171,895	137,785	0	660,612							
決算 事業費 合計					186,220	0	0	0	0	186,220							
執行率					86.4%	0.0%	0.0%	0.0%	—	28.2%							

令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート

政 策	Ⅱ	学習環境が充実した文化あふれるまち	計画書
施 策	1	学校教育環境の充実	46
主要施策	9	社会教育を支える土台づくり	ページ

部	教育振興部	課	生涯学習課	所管部長	鈴木敏久	作成 担当	役職	副課長	氏名	大西直美
				所管課長	岸本孝司		役職		氏名	

将来あるべき姿
魅力ある学習環境・機会が整うことで、市民の豊かな心や人間力が育まれ、生きがいをもって地域社会に参画しています。

協働の取組(市の取組)		計画内容		成 果		課題・取組方針		総合評価			
①【学びの場や機会の充実(総合戦略)】	成人学習事業や高齢者大学、小学生チャレンジスクールなど、ライフステージに応じた多様な学びの場や機会を充実させるとともに、学習の成果を地域に還元できるよう、学びを通して身に付けた知識や技術などを発表する機会づくりや成果を生かせる場づくりに取り組みます。また、各種団体やサークルの活動支援や充実した学習を行うための環境整備に努めます。	⇒	生涯学習サポーター倶楽部登録の講師と連携し、小学生チャレンジスクールや地域子ども教室において、子どもたちに体験活動の機会を提供することができた。成人学習事業では、市民の様々なニーズに合わせ、市民の楽しみや生きがいが見いだせるような教室が開催できた。高齢者大学では、実施方法を工夫し、全課程を実施することができ、学生のニーズに応えることができた。	⇒	小学生チャレンジスクール、成人学習事業及び高齢者大学においては、兵庫教育大学をはじめ、他の団体との連携による事業を充実させ、魅力ある体験の場を提供することで、新規の参加者を確保していく。	一次 (内部)	A	R5	R6	R7	
			二次 (外部)			R5	R6	R7			
			【S】全ての指標を達成又は十分な成果があった 【A】全ての指標の達成率が80%以上又は概ね目標とする成果があった 【B】過半数の指標の達成率が60%以上又は一部成果があった 【C】取組(時期・内容)に改善が必要								
			【一次(内部)評価理由(指標達成度以外で評価した場合)】 公民館等の登録団体の発表の機会を設け、ケーブルテレビを活用して作品等を放映するなど、市民への周知を図った結果、参加団体及び来館者との交流につながり、地域のコミュニケーションを深めることができた。								
			【二次(外部)評価意見等】								

■主要施策を構成する主な事務事業

通 番	協働 の 取組 番号	事務事業名	戦略 行革	上段：事務事業内容〔2025(R5)～2026(R8)〕 下段：2023(R5)年度までに完了した取組内容	上段：予算〔計画〕、中上段：決算〔千円〕、中下段：執行率、下段：実施有無						成果	自己診断			方向性	方向性の詳細(方向性が「継続」「完了」以外は必ず記載、「継続」の場合はある場合のみ記載)	行財政改革関連 事業の成果
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計		必要性	有効性	効率性			
1	①	社会教育総務事務事業	○	各種社会教育事業の推進、社会教育関係団体への支援、文化芸術貢献者に対する表彰及び賞賜金の支給	2,907	2,549	2,549	2,549		10,554	○	中	中	中	継続		
					2,090					2,090							
					71.9%	0.0%	0.0%	0.0%	—	19.8%							
					○	○	○	○									
2	①	地域学校協働本部事業	○	地域と学校の「連携・協働」を強化するため地域学校協働本部の運営	407	458	916	916		2,697	○	中	中	中	継続		
					196					196							
					48.2%	0.0%	0.0%	0.0%	—	7.3%							
					○	○	○	○									
3	①	成人式事業		二十歳の集いの開催	1,757	1,792	1,792	1,792		7,133	○	高	中	中	継続		
					1,552					1,552							
					88.3%	0.0%	0.0%	0.0%	—	21.8%							
					○	○	○	○									
4	①	社公民館事務費		社公民館の活動運営事務	944	832	832	832		3,440	○	中	中	中	継続		
					634					634							
					67.2%	0.0%	0.0%	0.0%	—	18.4%							
					○	○	○	○									
5	①	滝野公民館事務費		滝野公民館の活動運営事務	842	840	840	840		3,362	○	中	中	中	継続		
					686					686							
					81.5%	0.0%	0.0%	0.0%	—	20.4%							
					○	○	○	○									
6	①	東条公民館事務費		東条公民館の活動運営事務	1,058	918	918	918		3,812	○	中	中	中	継続		
					979					979							
					92.5%	0.0%	0.0%	0.0%	—	25.7%							
					○	○	○	○									
7	①	公民館総務事務事業		公民館総括事務、施設予約システム保守	4,249	3,457	3,193	3,193		14,092	○	中	中	中	継続		
					4,200					4,200							
					98.8%	0.0%	0.0%	0.0%	—	29.8%							
					○	○	○	○									
8	①	社公民館維持管理事業		社公民館の管理運営、特殊建築物定期報告、長寿命化計画に基づく施設修繕	8,581	8,426	50,104	94,300		161,411	○	中	中	中	継続		
					6,095					6,095							
					71.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	3.8%							
					○	○	○	○									
9	①	滝野公民館維持管理事業		滝野公民館の管理運営、特殊建築物定期報告、長寿命化計画に基づく修繕	52,117	117,928	7,387	7,387		184,819	○	中	中	中	継続		
					46,265					46,265							
					88.8%	0.0%	0.0%	0.0%	—	25.0%							
					○	○	○	○									
10	①	東条公民館維持管理事業		東条公民館の管理運営	1,128	860	860	860		3,708	○	中	中	中	継続		
					384					384							
					34.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	10.4%							
					○	○	○	○									
11	①	東条会館管理運営事業		コミュニティセンター東条会館の管理運営	106,177	20,225	5,496	5,496		137,394	○	中	中	中	継続		
					62,920					62,920							
					59.3%	0.0%	0.0%	0.0%	—	45.8%							
					○	○	○	○									

12	①	さんあいセンター管理運営事業	さんあいセンターの管理運営、特殊建築物定期報告	1,196 791 66.1%	737 0.0%	737 0.0%	737 0.0%	3,407 791 23.2%	○	中	中	中	継続		
13	①	明治館管理運営事業	明治館の管理運営、特殊建築物定期報告	2,035 1,568 77.1%	1,656 0.0%	12,774 0.0%	4,900 0.0%	21,365 1,568 7.3%	○	中	中	中	継続		
14	①	公民館管理運営体制等検討事業	公民館等の社会教育施設の効率的な管理運営手法や地域コミュニティ活動施設等に転用する学校施設の活用方法の検討	— ○	— ○	— ○	— ○	— ○	○	低	低	中	完了	小中一貫校建設に伴い、学校施設の検討したが、現状維持とし、情報収集のみに留める。	
15	①	高齢者大学	高齢者大学(3公民館を拠点とした地域ごとの各教室及び合同講座)の開講	1,958 624 31.9%	2,250 0.0%	2,250 0.0%	2,250 0.0%	8,708 624 7.2%	○	高	中	中	継続		
16	①	成人学習事業	成人学習講座、公民館まつりの開催	669 399 59.6%	669 0.0%	669 0.0%	669 0.0%	2,676 399 14.9%	○	高	中	中	継続		
17	①	小学生チャレンジスクール	小学生チャレンジスクール(伝統文化、福祉体験、創作体験、野外活動)の開催	1,740 1,169 67.2%	1,685 0.0%	1,685 0.0%	1,685 0.0%	6,795 1,169 17.2%	○	高	中	低	継続		
18	①	子ども教室	地域子ども教室の開催	3,990 4,006 100.4%	5,323 0.0%	5,323 0.0%	5,323 0.0%	19,959 4,006 20.1%	○	高	中	低	継続		
19	①	青少年活動に係る助成事業	青少年健全育成を目的とした活動を実施する各種団体への支援	1,430 1,430 100.0%	1,430 0.0%	1,430 0.0%	1,430 0.0%	5,720 1,430 25.0%	○	高	中	中	継続		
20	①	学習成果活用・学習活動担い手育成事業	学習成果を地域社会に活かせる仕組みづくり、学習活動の担い手となる団体・サークルや人材の育成、生涯学習サポーターの充実	— ○	— ○	— ○	— ○	— ○	○	中	中	中	継続		
21	①	地域交流センター管理運営事業	地域交流センターの管理運営、特殊建築物定期報告	25,993 14,996 57.7%	20,793 0.0%	20,793 0.0%	20,793 0.0%	88,372 14,996 17.0%	○	中	中	中	継続		
22	①	地域交流センター整備事業	長寿命化計画に係る施設修繕	235,160 177,748 75.6%	130,552 0.0%	24,400 0.0%	26,400 0.0%	416,512 177,748 42.7%	○	中	高	中	継続		
23	①	東条西ふれあい館管理運営事業	東条西ふれあい館の管理運営、長寿命化改修工事	22,133 3,259 14.7%	73,908 0.0%	1,300 0.0%	1,500 0.0%	98,841 3,259 3.3%	○	中	中	中	継続		
予算(計画) 事業費 合計				476,471	397,288	146,248	184,770	0	1,204,777						
決算 事業費 合計				331,991	0	0	0	0	331,991						
執行率				69.7%	0.0%	0.0%	0.0%	—	27.6%						

令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート

政 策	Ⅱ	学習環境が充実した文化あふれるまち	計画書
施 策	2	生涯学習の充実	47
主要施策	10	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	ページ

部	教育振興部	課	生涯学習課	所管部長	鈴木敏久	作成担当	役職	副課長	氏名	大西直美
				所管課長	岸本孝司		役職		氏名	

将来あるべき姿
市民がそれぞれの年齢や体力に応じて気軽にスポーツを楽しむとともに、スポーツを通して、市民相互の親睦や理解が深められ、市民の健康増進や体力向上が図られています。

協働の取組(市の取組) 計画内容		成 果		課題・取組方針		総合評価									
① スポーツを通じた健康・体力づくりの推進【総合戦略】	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	一次 (内部)	A	R5	R6	R7				
							二次 (外部)			R5	R6	R7			
							② 指導者の育成と指導力の向上【総合戦略】	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	【S】全ての指標を達成又は十分な成果があった 【A】全ての指標の達成率が80%以上又は概ね目標とする成果があった 【B】過半数の指標の達成率が60%以上又は一部成果があった 【C】取組(時期・内容)に改善が必要 【一次(内部)評価理由(指標達成度以外で評価した場合)】 スポーツ活動団体やスポーツサークルの取組を支援し、健康保持・増進、地域コミュニティの育成につなげた。	【二次(外部)評価意見等】
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒									
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒									
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒									
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒									
	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒									

■主要施策を構成する主な事務事業

通 番	協働 の 取組 番号	事務事業名	戦略 行革	上段:事務事業内容〔2025(R5)～2026(R8)〕 下段:2023(R5)年度までに完了した取組内容	上段:予算(計画)、中上段:決算[千円]、中下段:執行率、下段:実施有無						成果	自己診断			方向性	方向性の詳細(方向性が「継続」「完了」以外は必ず記載、「継続」の場合はある場合のみ記載)	行財政改革関連 事業の成果
					2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	合計		必要性	有効性	効率性			
1	①	社会体育総務事業	○	スポーツ振興貢献者に対する表彰及び賞賜金の支給	7,551	7,528	7,528	7,528		30,135	○	中	中	中	継続		
					6,845					6,845							
					90.7%	0.0%	0.0%	0.0%	—	22.7%							
2	①	地区親善ソフトボール大会	○	地区親善ソフトボール大会の開催	144	136	136	136		552	○	高	中	中	継続		
					78					78							
					54.2%	0.0%	0.0%	0.0%	—	14.1%							
3	①	地区親善バレーボール大会	○	地区親善バレーボール大会の開催	160	168	168	138		634	○	高	中	中	継続		
					146					146							
					91.3%	0.0%	0.0%	0.0%	—	23.0%							
4	①	ゲートボール大会	○	市ゲートボール大会の開催	59	59	59	59		236	○	高	中	中	継続		
					50					50							
					84.7%	0.0%	0.0%	0.0%	—	21.2%							
5	①	ふれあいベタンク大会	○	市ベタンク大会の開催	41	50	50	50		191	○	高	中	中	継続		
					39					39							
					95.1%	0.0%	0.0%	0.0%	—	20.4%							
6	①	グラウンド・ゴルフ大会	○	市グラウンド・ゴルフ大会の開催	83	89	89	89		350	○	高	中	中	継続		
					71					71							
					85.5%	0.0%	0.0%	0.0%	—	20.3%							
7	①	卓球大会	○	市卓球大会の開催	185	234	234	234		887	○	高	中	中	継続		
					168					168							
					90.8%	0.0%	0.0%	0.0%	—	18.9%							
8	①	三草山登山	○	三草山登山を通した自然とのふれあい、健康維持と体力づくり	171	182	182	182		717	○	低	中	中	継続		
					167					167							
					97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	—	23.3%							
9	①	加東伝の助マラソン大会	○	スポーツ協会等を核にした実行委員会体制による未就学児から高齢者までを対象としたマラソン大会の開催	4,440	4,440	4,440	4,440		17,760	○	高	高	中	継続		
					4,440					4,440							
					100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	25.0%							
10	①	パークゴルフ大会	○	市パークゴルフ大会の開催	122	120	120	120		482	○	高	中	中	継続		
					122					122							
					100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—	25.3%							
11	①	スポーツ施設相互利用等推進事業	○	北播磨広域定住自立圏における、グラウンド・ゴルフ大会の開催による市外の団体などとのスポーツを通した交流機会の提供、スポーツ施設の相互利用の推進	200	200	200	200		800	○	高	中	中	継続		
					113					113							
					56.5%	0.0%	0.0%	0.0%	—	14.1%							
12	①	東条第一体育館整備事業			242,042					242,042	○	中	高	中	完了		
					210,351					210,351							
				東条第一体育館耐震・長寿命化改修及び空調設備整備工事	86.9%	—	—	—	—	86.9%							

令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート

13	① ②	スポーツクラブ21活動支援事業	○	地域住民が主体となったスポーツクラブ21の活動に対する支援	17	17	17	17	68	○	中	低	中	継続			
					5				5								
					29.4%	0.0%	0.0%	0.0%	—								7.4%
					○	○	○	○									
14	① ②	体育施設管理運営事業	○	指定管理者による社会体育施設の管理運営	77,471	82,977	78,777	78,777	318,002	○	中	高	中	継続			
					77,447				77,447								
					100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—								24.4%
					○	○	○	○									
15	②	スポーツ等指導者育成事業	○	スポーツ推進委員や各種スポーツ・レクリエーションについての地域の指導者の育成、ニュースポーツの推進	149	207	207	207	770	○	高	中	中	継続			
					134				134								
					89.9%	0.0%	0.0%	0.0%	—								17.4%
					○	○	○	○									
予算(計画) 事業費 合計					332,835	96,407	92,207	92,177	0	613,626							
決算 事業費 合計					300,176	0	0	0	0	300,176							
執行率					90.2%	0.0%	0.0%	0.0%	—	48.9%							

令和5年度 第2次総合計画 後期基本計画 施策評価シート

政策	Ⅱ	学習環境が充実した文化あふれるまち	計画書	部	教育振興部	課	中央図書館	所管部長	鈴木敏久	作成担当	役職	副課長	氏名	藤田智架子
施策	2	生涯学習の充実	48								役職	副課長	氏名	下山和子
主要施策	11	図書館機能の充実	ページ					所管課長	田中美紀子		役職		氏名	

将来あるべき姿
人にやさしく暮らしに役立つ図書館運営により、生涯学習が促進され、全世代の市民の教育と文化の発展に寄与しています。

協働の取組(市の取組) 計画内容		成果		課題・取組方針		総合評価	
① 魅力ある図書館づくりの推進【総合戦略】	市民のニーズに対応した蔵書の充実や効果的な情報発信などにより、魅力ある図書館づくりを進めます。また、効率的な運営により、利用者サービスの向上に取り組みます。	⇒	スマートフォンを利用した図書館アプリにより、貸出カードが呼び出せるようになり、また、少ない手順で本が検索でき、利用者の利便性が向上した。 利用者からのリクエストに購入や相互貸借といった手段で、ほぼ100%対応できた。	⇒	今後も継続して、利用者の要求に応えるリクエスト図書や利用傾向に合わせた図書館資料の購入に加え、市民自らの学びの推進になるような図書館資料を充実する必要がある。	一次(内部)	A R5 R6 R7
② 図書館利用の促進【総合戦略】	あらゆる世代の市民の図書館利用を促進するため、利用者参加型の読書活動推進事業を展開するとともに、図書館の利用が困難な市民にも利用しやすいサービスを拡充します。また、「おとどけ図書館」「おでかけ図書館」を実施するなど、学校と連携した子どもの読書活動を推進します。	⇒	「おでかけ図書館」に全小学校が参加し、小学3年生全員に自身のとしょかんカードで本を借りる体験をしてもらった。 読書活動推進事業として、初めて行う行事を立案・実施できた。 中央図書館2階会議室の使用方法を見直し、市民にくつろげる空間を提供できた。また、2階参考図書室を開放し、利用者が自由に入れるようにできた。 図書館利用が困難な利用者に対して、図書の宅配サービスが実施できた。	⇒	「はじめてであう絵本」でその場限りの体験だけではなく、家庭でも赤ちゃんと読み聞かせをしてもらえるように、絵本などのプレゼントを含む「ブックスタート事業」を始める必要がある。 図書館利用困難者に対して、さらに図書の宅配サービスを充実させるよう努める。	二次(外部)	R5 R6 R7
		⇒		⇒		【S】全ての指標を達成又は十分な成果があった 【A】全ての指標の達成率が80%以上又は概ね目標とする成果があった 【B】過半数の指標の達成率が60%以上又は一部成果があった 【C】取組(時期・内容)に改善が必要 【一次(内部)評価理由(指標達成度以外で評価した場合)】 【二次(外部)評価意見等】	
		⇒		⇒			
		⇒		⇒			

まちづくり指標						年度目標達成状況									
指標銘	指標の考え方	単位	トレンド	方向性	実績値 2021 (R3)	上段:目標値 下段:実績値					上段:達成率 下段:年度目標達成状況				
						2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
①貸出密度	市民1人あたりに貸し出した年間冊数	冊	↘	↑	12.9	12.9 11.4	12.9	13.0	13.1	13.2	88.4% ★★				
②図書館利用者数	図書等を借りた延べ人数と読書活動推進事業の延べ参加者数の合計	人	↘	↑	104,308	104,100 111,211	104,500	104,900	105,300	105,700	106.8% ★★★				

【年度目標達成状況】★★★:達成、★★:達成率80%以上、★:達成率60%以上、☆:達成率60%未満、―:測定不能

■主要施策を構成する主な事務事業

通番	協働の取組番号	事務事業名	戦略 行革	上段:事務事業内容(2025(R5)～2026(R8)) 下段:2023(R5)年度までに完了した取組内容	上段:予算(計画)、中上段:決算【千円】、中下段:執行率、下段:実施有無						成果	自己診断			方向性	方向性の詳細(方向性が「継続」「完了」以外は必ず記載、「継続」の場合はある場合のみ記載)	行財政改革関連事業の成果
					2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	合計		必要性	有効性	効率性			
1	①	図書館充実事業	○	図書館システムの維持管理、図書館資料等の購入、郷土資料の修繕・スキャン グ、図書館システムマイナナンバー対応端末導入・保守	26,185 26,041	29,037	26,188	26,188		107,598 26,041	○	高	高	高	継続		
				99.5%	0.0%	0.0%	0.0%	—	24.2%								
				○	○	○	○										
2	①	中央図書館施設維持管理事業		中央図書館の施設維持管理、2階書庫床改修、屋根塗装、建物外周通路改修等	33,381 29,920	44,232	28,071	24,436		130,120 29,920	○	中	中	中	継続		
				89.6%	0.0%	0.0%	0.0%	—	23.0%								
				○	○	○	○										
3	①	滝野図書館施設維持管理事業		滝野図書館の施設維持管理、1階屋上防水他改修工事、2階ギャラリー改修工事、無線LAN環境機器更新工事、自動ドア修繕等	35,925 26,627	38,579	24,324	65,553		164,381 26,627	○	中	中	中	継続		
				74.1%	0.0%	0.0%	0.0%	—	16.2%								
				○	○	○	○										
4	①	東条図書館施設維持管理事業		東条図書館の施設管理、椅子補修、カーテンウォールコーキング工事	6,973 5,169	8,271	6,881	6,881		29,006 5,169	○	中	中	中	継続		
				74.1%	0.0%	0.0%	0.0%	—	17.8%								
				○	○	○	○										
5	①	図書館施設指定管理者制度導入調査・研究事業		図書館施設の管理運営に係る指定管理者制度の導入についての調査・研究						0 0	△	高	高	中	継続		
			○		—	—	—	—	—								
				○	○												
6	① ②	図書館運営事業	○	レファレンスサービス及び郷土資料・地域資料の充実、図書館資料の配送、「おど け図書館」等の実施、近隣市町間の図書館資料の相互貸借及び館外返却サービ スの実施、図書館資料の宅配サービス、読書バリアフリーの実施	7,491 5,944	2,480	2,467	2,480		14,918 5,944	○	高	高	高	継続		
				79.3%	0.0%	0.0%	0.0%	—	39.8%								
				○	○	○	○										
7	②	図書館主催事業	○	おでかけ図書館(小学3年生を対象に図書館の見学及び本を借りる体験を行う事 業)、読書活動推進のための行事の実施、ブックスタート事業の実施	113 108	1,015	1,015	1,015		3,158 108	○	高	高	高	継続		
				95.6%	0.0%	0.0%	0.0%	—	3.4%								
				○	○	○	○										
8										0 0							
					—	—	—	—	—								
9										0 0							
					—	—	—	—	—								
10										0 0							
					—	—	—	—	—								
予算(計画) 事業費 合計					110,068	123,614	88,946	126,553	0	449,181							
決算 事業費 合計					93,809	0	0	0	0	93,809							
執行率					85.2%	0.0%	0.0%	0.0%	—	20.9%							